

日商産一発 第20号  
2012年5月31日

商工会議所LOBO（早期景気観測）  
――2012年5月調査結果――

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年5月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。  
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。  
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。  
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替  
TEL：03-3283-7839  
FAX：03-3213-8716  
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年5月17日～23日  
○調査対象：全国の415商工会議所が3002企業にヒアリング  
（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	446	238	53.4%	北海道	49.2%
製造	725	404	55.7%	東北	54.5%
卸売	314	178	56.7%	北陸信越	43.4%
小売	741	369	49.8%	関東	55.6%
サービス	776	392	50.5%	東海	51.2%
合計	3002	1581	52.6%	近畿	51.2%
				中国	46.8%
				四国	71.9%
				九州	52.0%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）  
※ DI値（景況判断指数）について  
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

―――【2012年5月調査結果のポイント】―――  
業況DIは、横ばいで推移。先行きは慎重な見方が続く

5月の全産業合計の業況DIは、▲17.5と、前月から▲0.7ポイントとほぼ横ばい。エコカー補助金に加え、原油や一部の原材料価格の低下が業況の改善を下支えしている。しかし、超円高の影響や取引先の海外移転に伴う受注の減少、電力料金の上昇によるコスト増など企業を取り巻く環境は厳しい状況。なお、業況等のDIは、比較対象の前年同月（2011年5月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。  
先行きについては、先行き見通しDIが▲20.3（今月比▲2.8ポイント）と、悪化する見込み。欧州債務問題の再燃に伴う円高の進行に加え、今夏の電力供給不足による事業活動への影響懸念から、先行きは依然として慎重な見方が続いている。

産業別にみると、業況DIは、建設業はほぼ横ばい、製造業、卸売業は改善、その他の2業種は悪化。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「5月に入り、公共工事の発注が活発になってきたが、民間工事は依然として少ない」（一般工事業）、「今夏の電力供給不足を懸念し、工場関連の設備投資は慎重」（一般工事業）、「市が太陽光発電設備の補助制度を開始。設置工事の増加を期待」（電気工事業）

【製造業】「震災被災地から養殖施設用海水ろ過装置の大型案件を受注」（ろ過装置製造業）、「自動車関連の量産品は好調であるが、電気料金の値上げ等により収益性は厳しい」（自動車部品製造業）、「現在の受注は好調であるが、電力供給不足により停電となれば生産に大きな影響が生じる」（プリント基盤製造業）

【卸売業】「燃料価格（LPガス）が下落しつつあり採算は好転」（農産品卸売業）、「輸入品依存度が高まっていることから、円高により良い影響がでている」（酒類卸売業）、「中国中心からアセアン地域へと市場を拡大。代理店経由から直販への変更を計画」（衣料付属品卸売業）

【小売業】「ゴールデンウィークは雨が多かったことから、例年売れるキャンプ等のアウトドア商品の売れ行きが不振」（百貨店）、「周辺店でディスカウント店への業態変更が相次いでおり、価格競争が激化」（総合スーパー）、「これから本格化を迎えるクールビズはお中元に並ぶ重要な商機と捉えている」（百貨店）

【サービス業】「観光客数は例年と同程度だが、消費に繋がらない」（レストラン）、「大手家電メーカーが生産拠点を海外に移転したことにより、売上が減少」（運送業）、「タイの生産拠点が完全復旧し、自動車部品や電子部品等のアジア向けの輸出が増加していることからコンテナ取扱量が対前年同月比で増加」（港湾業）

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年5月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 17.5	▲ 24.9	▲ 7.5	▲ 14.0	▲ 29.3	▲ 13.8
北海道	▲ 11.5	▲ 11.8	5.6	▲ 42.9	▲ 20.0	▲ 6.9
東北	▲ 1.6	▲ 8.7	7.4	▲ 11.1	0.0	▲ 3.1
北陸信越	▲ 17.5	▲ 38.5	▲ 13.8	▲ 14.3	▲ 20.0	▲ 5.3
関東	▲ 15.3	▲ 20.8	▲ 9.3	▲ 6.2	▲ 25.7	▲ 13.9
東海	▲ 6.7	▲ 30.8	14.5	0.0	▲ 34.1	▲ 3.6
近畿	▲ 19.9	▲ 4.8	▲ 13.2	▲ 26.3	▲ 29.1	▲ 20.8
中国	▲ 30.2	▲ 20.0	▲ 23.3	▲ 18.8	▲ 40.9	▲ 44.4
四国	▲ 37.4	▲ 52.4	▲ 34.5	▲ 30.0	▲ 44.4	▲ 25.0
九州	▲ 30.5	▲ 38.1	▲ 13.8	▲ 19.0	▲ 55.6	▲ 20.6

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年6～8月）

上段：2012年5月時点

下段：2011年5月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 20.3	▲ 27.4	▲ 14.7	▲ 12.9	▲ 27.4	▲ 18.5
北海道	▲ 47.4	▲ 52.3	▲ 42.9	▲ 48.5	▲ 44.3	▲ 52.2
東北	▲ 19.8	▲ 29.4	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 20.0	▲ 17.2
北陸信越	▲ 31.1	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 33.3
関東	▲ 4.1	▲ 13.0	▲ 14.8	22.2	6.7	▲ 6.3
東海	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 59.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 69.6
近畿	▲ 13.3	▲ 23.1	▲ 6.9	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 15.8
中国	▲ 54.1	▲ 40.7	▲ 55.2	▲ 76.9	▲ 35.7	▲ 75.7
四国	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 17.8	▲ 18.5	▲ 24.8	▲ 17.8
九州	▲ 53.5	▲ 63.5	▲ 51.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 54.9
北海道	▲ 15.8	▲ 11.5	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 43.9	▲ 12.5
東北	▲ 39.7	▲ 40.0	▲ 27.5	▲ 61.1	▲ 41.2	▲ 41.2
北陸信越	▲ 27.0	▲ 33.3	▲ 20.8	▲ 10.5	▲ 27.3	▲ 37.5
関東	▲ 48.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 57.6	▲ 47.7
東海	▲ 23.2	▲ 50.0	▲ 13.8	▲ 31.3	▲ 31.8	▲ 5.6
近畿	▲ 47.5	▲ 58.3	▲ 29.0	▲ 53.8	▲ 53.8	▲ 58.8
中国	▲ 27.8	▲ 28.6	▲ 20.7	0.0	▲ 51.9	▲ 21.4
四国	▲ 46.7	▲ 75.0	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 40.7
九州	▲ 28.4	▲ 47.6	▲ 13.3	▲ 9.5	▲ 44.4	▲ 24.2
	▲ 43.5	▲ 68.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.1	▲ 44.4

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

【業況についての判断】

○ 5月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲17.5（前月比▲0.7ポイント）と、ほぼ横ばい。産業別にみると、建設業は、リフォーム工事や復興需要を中心とした公共工事に動きがあるものの、価格競争の激化、技能者不足による人件費高騰によりほぼ横ばい。製造業は、好調な自動車に加え、原油や一部の原材料価格の低下により売上、採算の両面から改善。卸売業は、円高により輸入を中心に業況は回復。一方、小売業、サービス業は、ゴールデンウィーク中の天候が全般的に不順で期待ほどの集客が得られず業況は悪化。なお、業況DIは、比較対象の前年同月（2011年5月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

○ 向こう3カ月（6～8月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲20.3（今月比▲2.8ポイント）と、悪化する見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、技能者不足による人件費の上昇の長期化、一部の建築資材の高騰が予想されることから悪化。製造業は、エコカー補助金終了後の反動減、今夏の電力供給不足による生産活動への影響懸念からマイナス幅が拡大。卸売業は、マイナス幅が縮小する見込みであるが、「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。小売業は、クールビズ、節電関連商品への期待から改善する見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲9.9（前月比▲2.4ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、復興需要を中心とした公共工事の動きはあるものの、民間投資等が低調なことから悪化。製造業は、エコカー補助金により自動車为好調。しかし、取引先の海外移転・海外調達の加速により受注が減少しており横ばいでの推移。卸売業は、円高により輸入品が好調。一方、小売業、サービス業は、ゴールデンウィーク中の天候が全般的に不順で期待ほどの集客が得られず悪化。なお、売上DIは、比較対象の前年同月（2011年5月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

○ 向こう3カ月（6～8月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲15.1（今月比▲5.2ポイント）と、悪化する見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、小売業は、クールビズ、節電関連商品の売上増の期待から改善する見込みであるが、その他の4業種については悪化する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

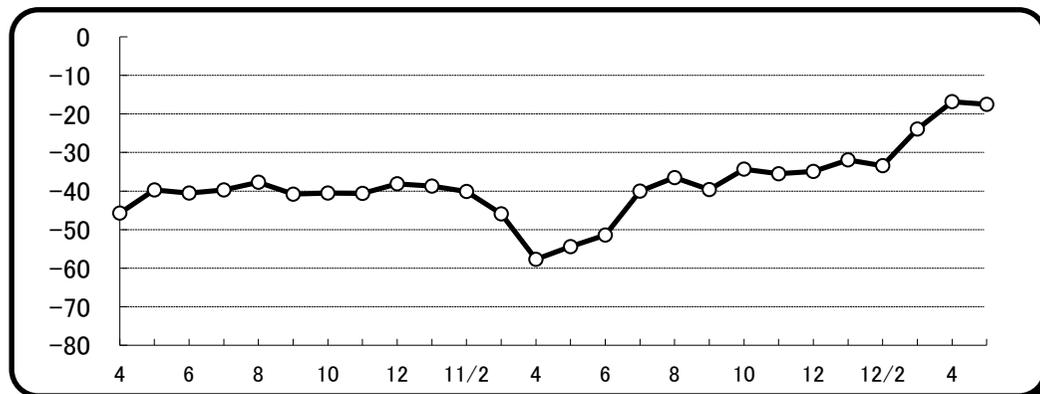
	11年		12年		2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
	12月	1月	1月	2月					
全産業	▲34.9	▲31.9	▲33.4	▲23.9	▲16.8	▲17.5	▲20.3		
建設	▲34.0	▲29.0	▲29.1	▲33.6	▲24.0	▲24.9	▲27.4		
製造	▲24.8	▲25.6	▲27.6	▲15.3	▲9.5	▲7.5	▲14.7		
卸売	▲35.9	▲22.3	▲27.6	▲27.4	▲17.3	▲14.0	▲12.9		
小売	▲42.5	▲40.3	▲42.0	▲30.0	▲27.5	▲29.3	▲27.4		
サービス	▲37.7	▲36.2	▲36.2	▲18.1	▲9.6	▲13.8	▲18.5		

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

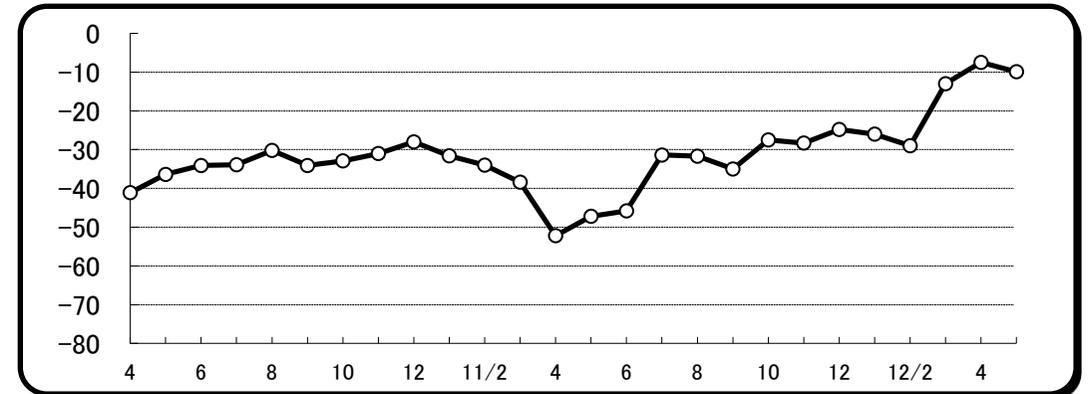
	11年		12年		2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
	12月	1月	1月	2月					
全産業	▲24.8	▲26.0	▲29.0	▲13.0	▲7.5	▲9.9	▲15.1		
建設	▲24.0	▲24.3	▲24.7	▲19.7	▲14.7	▲17.6	▲24.4		
製造	▲11.0	▲19.6	▲20.2	▲5.5	0.8	0.5	▲12.2		
卸売	▲23.7	▲22.9	▲28.4	▲11.6	▲9.3	▲6.7	▲9.0		
小売	▲32.5	▲31.7	▲36.8	▲18.1	▲15.5	▲22.6	▲20.4		
サービス	▲32.2	▲29.2	▲33.5	▲11.4	▲3.3	▲5.4	▲10.5		

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算DIは▲15.3（前月比+0.9ポイント）と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業は、技能者不足による人件費や一部の建築資材が高騰していることから悪化。製造業は、原油や一部の原材料価格が低下したことにより採算が好転。卸売業は、円高により輸入を中心に改善。一方、小売業は、価格競争の激化により悪化。なお、採算DIは、比較対象の前年同月（2011年5月）が、震災後、大きく低迷していた時期であることに留意が必要。

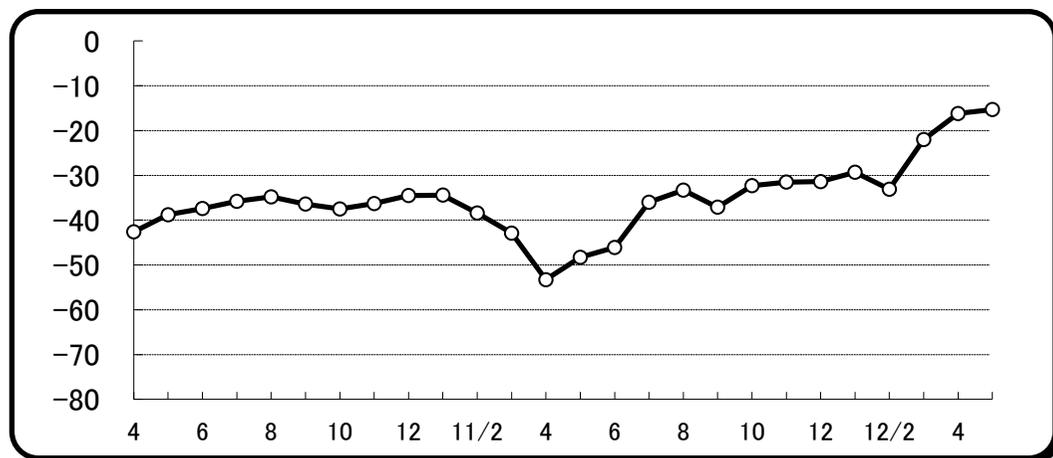
○ 向こう3カ月（6～8月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算DI（今月比ベース）は▲18.9と、今月から▲3.6ポイントの悪化を見込んでいる。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、小売業はほぼ横ばい、その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
全産業	▲31.4	▲29.3	▲33.1	▲22.0	▲16.2	▲15.3	▲18.9
建設	▲36.9	▲31.6	▲35.2	▲34.0	▲22.7	▲26.4	▲25.5
製造	▲22.3	▲24.0	▲26.7	▲15.2	▲13.1	▲6.7	▲17.2
卸売	▲26.3	▲20.5	▲27.6	▲18.9	▲13.6	▲11.2	▲12.9
小売	▲35.2	▲32.6	▲37.2	▲25.7	▲20.1	▲21.9	▲20.9
サービス	▲36.2	▲34.0	▲36.7	▲18.2	▲12.6	▲13.4	▲17.5

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りDI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
全産業	▲21.3	▲20.4	▲19.5	▲16.9	▲9.7	▲10.7	▲15.5
建設	▲29.4	▲24.5	▲21.9	▲23.5	▲14.9	▲12.8	▲19.6
製造	▲11.4	▲16.2	▲15.3	▲10.6	▲5.2	▲6.5	▲14.5
卸売	▲15.5	▲12.1	▲10.3	▲13.0	▲5.0	▲5.6	▲9.0
小売	▲24.8	▲23.0	▲24.0	▲18.3	▲13.9	▲15.0	▲15.1
サービス	▲25.9	▲23.2	▲22.1	▲19.2	▲9.6	▲12.0	▲17.5

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲10.7と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業では僅かに改善、卸売業は横ばい、その他の3業種は悪化した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみても、小売業はほぼ横ばいでの推移を見込むものの、その他の4業種はマイナス幅が拡大する見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
全産業	▲23.3	▲25.6	▲21.6	▲29.0	▲30.1	▲25.1	▲21.8
建設	▲30.9	▲31.4	▲30.0	▲35.8	▲38.1	▲35.5	▲35.2
製造	▲32.9	▲30.4	▲26.1	▲35.9	▲34.3	▲29.0	▲26.1
卸売	▲17.9	▲23.6	▲10.3	▲23.8	▲24.1	▲20.8	▲17.4
小売	▲12.9	▲17.3	▲15.1	▲19.7	▲21.5	▲16.1	▲13.8
サービス	▲22.1	▲26.0	▲23.1	▲29.4	▲31.7	▲25.3	▲18.8

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲25.1と、前月からマイナス幅が縮小。3カ月ぶりの改善。産業別にみても全ての業種で改善。原油や一部の原材料価格に低下がみられたことを反映。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ縮小する見込み。産業別にみると、建設業は、一部の建築資材の高騰が予想されることからほぼ横ばいでの推移を見込むものの、その他の4業種はマイナス幅が縮小する見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
全産業	▲3.8	▲2.2	▲2.8	▲3.3	0.1	▲1.7	▲1.2
建設	▲8.8	▲4.3	▲5.7	▲6.3	▲3.5	▲7.2	▲6.0
製造	▲6.7	▲5.5	▲4.8	▲4.7	▲2.6	▲4.0	▲3.5
卸売	▲9.6	▲6.0	▲5.1	▲5.5	▲4.3	▲6.2	▲6.2
小売	2.0	0.8	0.3	▲3.3	3.4	0.5	1.4
サービス	▲1.2	1.1	▲0.9	1.1	3.9	4.1	3.8

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは▲1.7と、前月から悪化。産業別にみると、建設業、製造業、卸売業は、人手過剰感が強まったが、小売業は人手不足感が改善、サービス業はほぼ横ばい。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ、ほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみると、建設業は、僅かに人手過剰感が改善。その他の4業種はほぼ横ばいで推移する見込み。

## 2012年5月

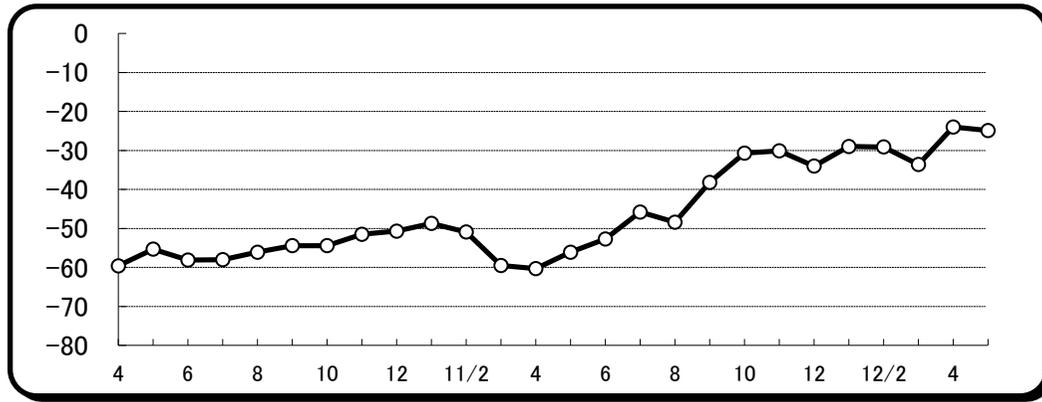
	売上(受注・出荷)		採 算		資金繰り		仕入単価		従 業 員		業 況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全 国	-9.9	-15.1	-15.3	-18.9	-10.7	-15.5	-25.1	-21.8	-1.7	-1.2	-17.5	-20.3
北海道	-9.3	-13.4	-12.6	-9.4	-9.4	-11.5	-14.7	-18.9	1.0	-2.1	-11.5	-19.8
東 北	9.0	-3.3	-4.9	-12.4	2.5	-8.3	-35.2	-32.5	6.6	6.6	-1.6	-4.1
北陸信越	-10.2	-8.1	-16.9	-14.2	-13.9	-16.3	-23.4	-22.2	0.7	1.5	-17.5	-13.3
関 東	-8.0	-15.9	-14.6	-22.2	-10.1	-15.6	-26.2	-20.9	-0.4	-1.1	-15.3	-21.0
東 海	0.0	-8.7	-2.9	-12.7	-7.8	-15.6	-24.0	-23.5	0.5	2.4	-6.7	-15.8
近 畿	-8.2	-17.3	-18.9	-23.5	-8.8	-14.5	-28.4	-24.4	-3.6	-3.1	-19.9	-27.0
中 国	-29.2	-23.4	-21.9	-21.3	-20.0	-16.0	-17.9	-10.6	-15.6	-10.5	-30.2	-23.2
四 国	-25.2	-22.6	-21.7	-21.1	-20.0	-20.0	-27.8	-23.5	-3.5	-3.5	-37.4	-27.8
九 州	-24.1	-25.5	-30.7	-23.9	-14.3	-20.7	-21.1	-17.6	-6.4	-4.9	-30.5	-28.4
建 設												
全 国	-17.6	-24.4	-26.4	-25.5	-12.8	-19.6	-35.5	-35.2	-7.2	-6.0	-24.9	-27.4
北海道	-22.2	-27.8	-23.5	-17.6	-23.5	-29.4	-37.5	-37.5	0.0	-17.6	-11.8	-29.4
東 北	-8.7	-17.4	-8.7	-13.0	8.7	-4.3	-56.5	-54.5	17.4	13.0	-8.7	-13.0
北陸信越	-23.1	-23.1	-40.0	-26.9	-26.9	-34.6	-34.6	-34.6	0.0	4.0	-38.5	-23.1
関 東	-15.3	-25.0	-20.8	-25.0	-12.9	-17.1	-31.4	-34.3	-7.0	-5.6	-20.8	-27.8
東 海	-11.5	0.0	-28.0	-16.0	-15.4	-19.2	-26.9	-30.8	-7.7	7.7	-30.8	-11.5
近 畿	-19.0	-14.3	-23.8	-23.8	4.8	-4.8	-33.3	-19.0	-23.8	-28.6	-4.8	-33.3
中 国	0.0	-30.0	0.0	-40.0	0.0	-30.0	-30.0	-40.0	0.0	0.0	-20.0	-50.0
四 国	-19.0	-28.6	-33.3	-25.0	-23.8	-9.5	-42.9	-38.1	-19.0	-9.5	-52.4	-28.6
九 州	-38.1	-61.9	-57.1	-52.4	-19.0	-38.1	-33.3	-33.3	-23.8	-23.8	-38.1	-47.6
製 造												
全 国	0.5	-12.2	-6.7	-17.2	-6.5	-14.5	-29.0	-26.1	-4.0	-3.5	-7.5	-14.7
北海道	5.6	0.0	11.1	-5.6	5.6	0.0	-16.7	-5.6	-11.1	-11.1	5.6	-16.7
東 北	25.9	-11.1	3.7	-22.2	7.4	-25.9	-37.0	-37.0	3.7	0.0	7.4	-14.8
北陸信越	-6.9	0.0	-13.8	-3.4	-13.8	-17.2	-24.1	-34.5	-6.9	-3.4	-13.8	-6.9
関 東	0.0	-15.3	-11.9	-23.7	-9.4	-17.1	-35.6	-28.8	-3.4	-4.2	-9.3	-17.8
東 海	13.2	-8.7	10.1	-5.8	-2.9	-11.6	-23.2	-23.2	-2.9	-2.9	14.5	-5.8
近 畿	13.0	-11.1	-1.9	-20.4	-3.8	-15.1	-29.6	-33.3	-3.7	-1.9	-13.2	-20.8
中 国	-23.3	-17.9	-20.0	-17.9	-6.7	-3.4	-10.0	-3.4	-10.0	-6.9	-23.3	-13.8
四 国	-27.6	-17.2	-27.6	-24.1	-20.7	-24.1	-44.8	-37.9	0.0	-3.4	-34.5	-20.7
九 州	-17.2	-20.0	-13.8	-20.0	-6.9	-6.7	-24.1	-13.3	-6.9	0.0	-13.8	-13.3

## 2012年5月

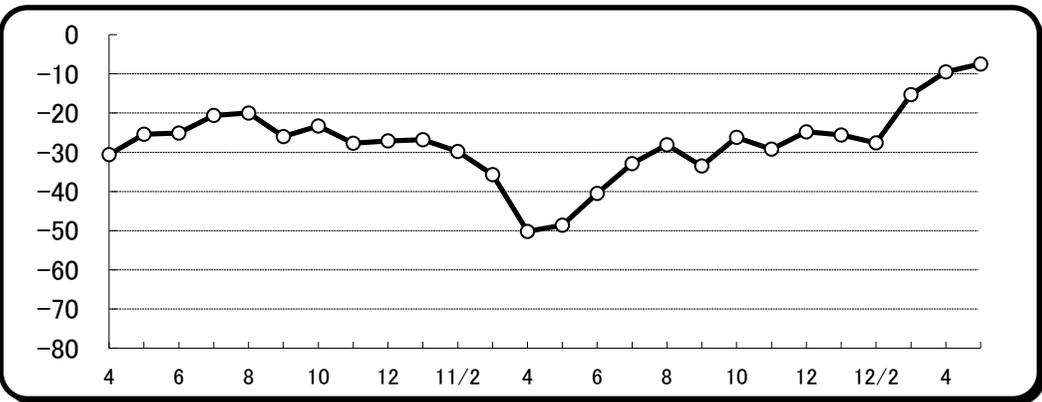
	売上(受注・出荷)		採 算		資金繰り		仕入単価		従 業 員		業 況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸 売												
全 国	-6.7	-9.0	-11.2	-12.9	-5.6	-9.0	-20.8	-17.4	-6.2	-6.2	-14.0	-12.9
北海道	-14.3	14.3	-57.1	0.0	-14.3	0.0	-28.6	-28.6	0.0	0.0	-42.9	-14.3
東 北	22.2	33.3	11.1	0.0	-22.2	-11.1	-22.2	-22.2	0.0	0.0	-11.1	22.2
北陸信越	-7.1	7.1	-14.3	-21.4	-7.1	-7.1	-57.1	-57.1	7.1	0.0	-14.3	-14.3
関 東	1.5	-13.8	3.1	-16.9	3.1	-9.4	-18.5	-12.3	-6.2	-4.6	-6.2	-18.5
東 海	-11.8	-5.9	-5.9	-17.6	-11.8	-11.8	-41.2	-35.3	-17.6	-17.6	0.0	-5.9
近 畿	-15.8	-15.8	-31.6	-5.3	-10.5	0.0	-26.3	-15.8	-5.3	0.0	-26.3	-10.5
中 国	-43.8	-43.8	-25.0	-25.0	-18.8	-12.5	0.0	0.0	-12.5	-12.5	-18.8	-31.3
四 国	-30.0	-20.0	-40.0	-20.0	0.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	-10.0	-30.0	0.0
九 州	9.5	4.8	-9.5	4.8	-4.8	-14.3	-9.5	-9.5	-9.5	-9.5	-19.0	-9.5
小 売												
全 国	-22.6	-20.4	-21.9	-20.9	-15.0	-15.1	-16.1	-13.8	0.5	1.4	-29.3	-27.4
北海道	-8.0	-20.0	-12.0	-16.0	-12.0	-12.0	-8.0	-12.0	8.0	8.0	-20.0	-20.0
東 北	6.5	0.0	-9.7	-3.3	3.3	-3.4	-25.8	-20.0	9.7	13.3	0.0	6.7
北陸信越	-20.0	3.6	-13.3	0.0	-6.7	-3.6	-3.3	3.6	0.0	3.6	-20.0	-7.1
関 東	-21.8	-17.8	-22.8	-23.8	-14.3	-13.3	-14.9	-9.9	8.1	7.1	-25.7	-24.8
東 海	-22.0	-32.5	-20.0	-32.5	-12.5	-20.0	-22.0	-26.8	0.0	0.0	-34.1	-43.9
近 畿	-24.1	-22.2	-25.9	-24.1	-18.5	-18.5	-15.1	-19.2	-1.9	-3.7	-29.1	-27.3
中 国	-31.8	-13.6	-22.7	-18.2	-33.3	-23.8	-19.0	-9.5	-40.9	-22.7	-40.9	-31.8
四 国	-40.7	-40.7	-14.8	-25.9	-25.9	-25.9	-25.9	-18.5	3.7	0.0	-44.4	-51.9
九 州	-41.7	-36.1	-44.4	-27.8	-20.0	-17.1	-13.5	-10.8	-5.4	-5.4	-55.6	-44.4
サービス												
全 国	-5.4	-10.5	-13.4	-17.5	-12.0	-17.5	-25.3	-18.8	4.1	3.8	-13.8	-18.5
北海道	-10.3	-13.8	-10.7	-3.4	-6.9	-10.3	-3.4	-20.7	3.4	3.4	-6.9	-17.2
東 北	6.3	0.0	-9.4	-15.6	0.0	0.0	-31.3	-28.1	0.0	3.1	-3.1	-6.3
北陸信越	2.6	-18.4	-7.9	-21.6	-13.2	-15.8	-18.4	-10.5	5.4	2.7	-5.3	-15.8
関 東	-4.6	-10.1	-16.5	-20.2	-13.3	-19.0	-28.0	-18.9	2.8	0.0	-13.9	-17.8
東 海	8.9	3.6	5.5	-3.7	-5.7	-17.0	-19.6	-13.7	14.3	14.3	-3.6	-12.5
近 畿	-6.3	-20.8	-22.9	-33.3	-8.7	-19.6	-40.4	-25.5	4.2	6.3	-20.8	-37.5
中 国	-38.9	-22.2	-33.3	-16.7	-38.9	-22.2	-38.9	-16.7	-5.6	-5.6	-44.4	-5.6
四 国	-10.7	-7.1	-7.1	-10.7	-17.9	-21.4	-14.3	-10.7	-3.6	0.0	-25.0	-21.4
九 州	-23.5	-15.2	-27.3	-23.5	-17.6	-30.3	-26.5	-24.2	6.1	5.9	-20.6	-24.2

# 業況D I（前年同月比）の推移（全国）

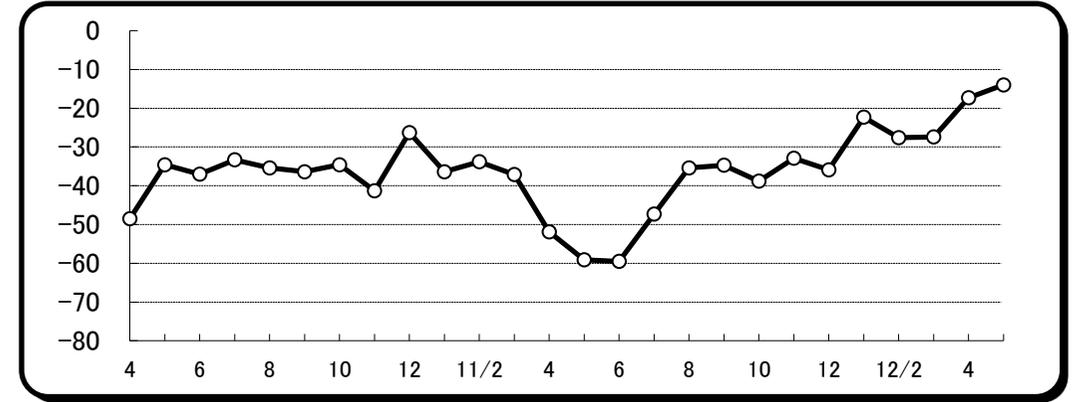
## 建設業



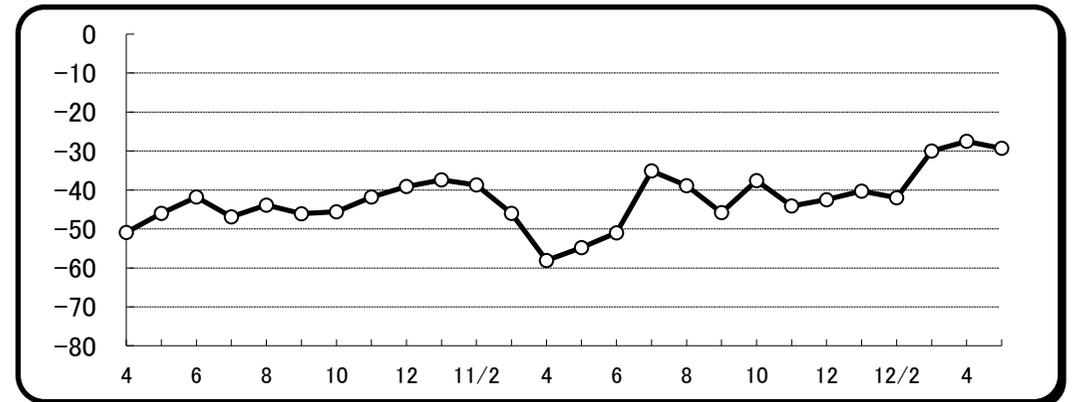
## 製造業



## 卸売業



## 小売業



## サービス業



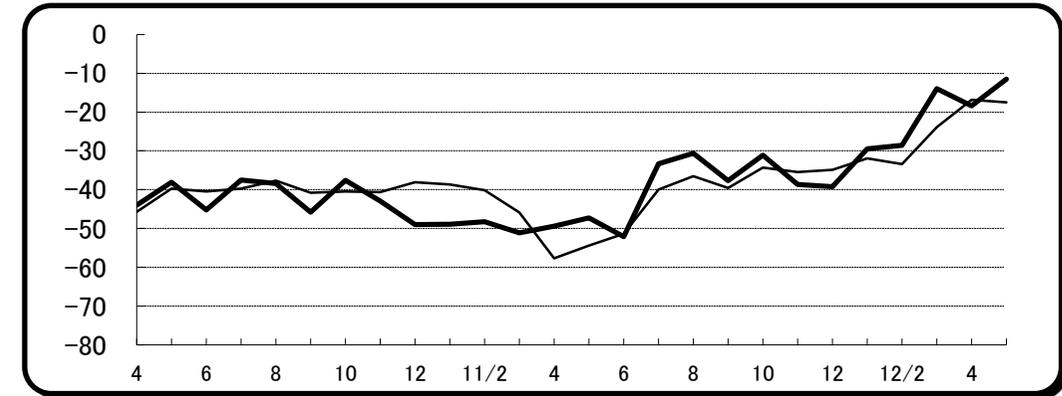
【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、卸売業がほぼ横ばい、その他の3業種で改善した。  
 ○機械製造業からは、「建設関係の投資意欲が弱く、受注が減少している」とのコメント。商店街からは、「夏物家電の動きが出始めた。LED照明や省エネ家電を中心に売れている」とのコメント。飲食店からは、「アジア圏を中心に外国人観光客が増えている」との声、旅館業からは、「観光客は震災後の落ち込みから回復し、客数も増加傾向。ただし、客単価の下落が大きい」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が縮小、小売業は横ばい、その他の3業種は悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道    —— 全国

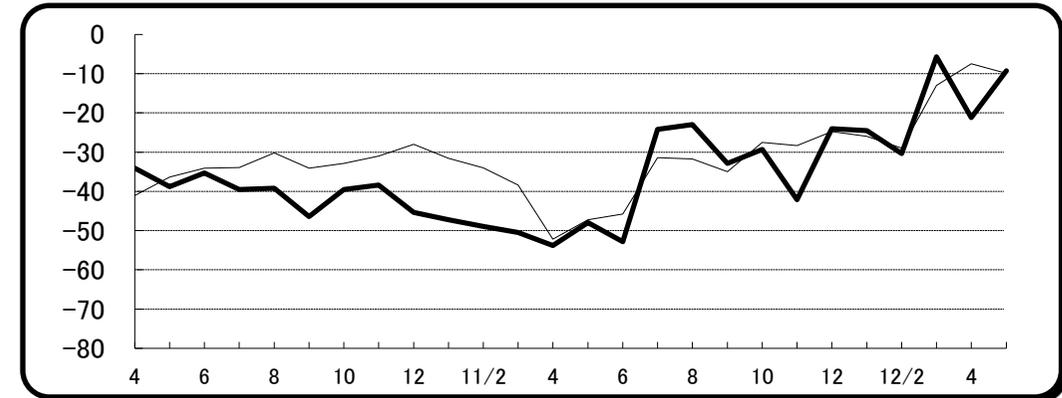
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6~8月
業況	▲ 39.2	▲ 29.5	▲ 28.6	▲ 14.0	▲ 18.4	▲ 11.5	▲ 19.8
売上	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 30.4	▲ 5.7	▲ 21.2	▲ 9.3	▲ 13.4
採算	▲ 32.4	▲ 22.9	▲ 26.4	▲ 15.1	▲ 21.4	▲ 12.6	▲ 9.4
資金繰り	▲ 21.9	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 4.7	▲ 10.2	▲ 9.4	▲ 11.5
仕入単価	▲ 18.9	▲ 27.2	▲ 23.3	▲ 22.1	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 18.9
従業員	▲ 9.5	▲ 8.6	▲ 5.5	▲ 5.8	0.0	1.0	▲ 2.1

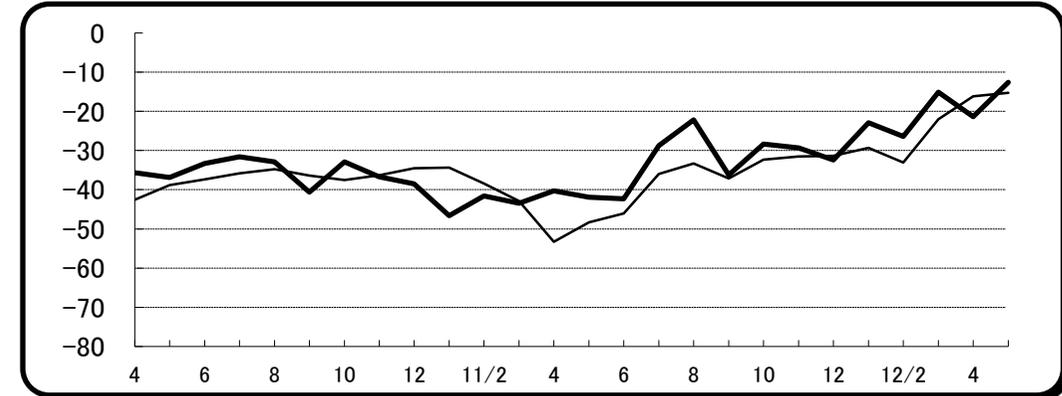
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6~8月
建設	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 11.1	▲ 11.8	▲ 29.4
製造	▲ 33.3	▲ 31.6	▲ 35.7	▲ 15.4	0.0	5.6	▲ 16.7
卸売	▲ 50.0	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 14.3
小売	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 34.8	▲ 4.8	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0
サービス	▲ 55.0	▲ 27.6	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 6.9	▲ 17.2

採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、製造業、卸売業、小売業で改善、その他の2業種で悪化した。  
 ○一般工事業からは、「受注は大幅に増加しているが、資材価格が高騰しており、収益を圧迫する恐れがある」とのコメント。食料品製造業からは、「低価格商品と差別化するためにも、付加価値のある商品開発が急務」とのコメント。百貨店からは、「衣料・服飾雑貨を中心に、個人消費は堅調な動きを維持している」との声、飲食店からは、「各種イベントが再開され、工事関係者の来店も増えているが、原材料価格が依然として高く、利益が上がらない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売業、小売業は改善するものの、その他の3業種は悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
業況	▲ 18.9	▲ 10.9	▲ 25.6	4.5	▲ 4.1	▲ 1.6	▲ 4.1
売上	▲ 18.0	▲ 10.9	▲ 23.1	3.6	9.8	9.0	▲ 3.3
採算	▲ 25.2	▲ 15.0	▲ 29.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 12.4
資金繰り	▲ 23.6	▲ 15.0	▲ 18.1	▲ 13.5	0.8	2.5	▲ 8.3
仕入単価	▲ 28.8	▲ 36.6	▲ 29.1	▲ 34.8	▲ 43.1	▲ 35.2	▲ 32.5
従業員	3.6	7.9	0.0	1.8	5.7	6.6	6.6

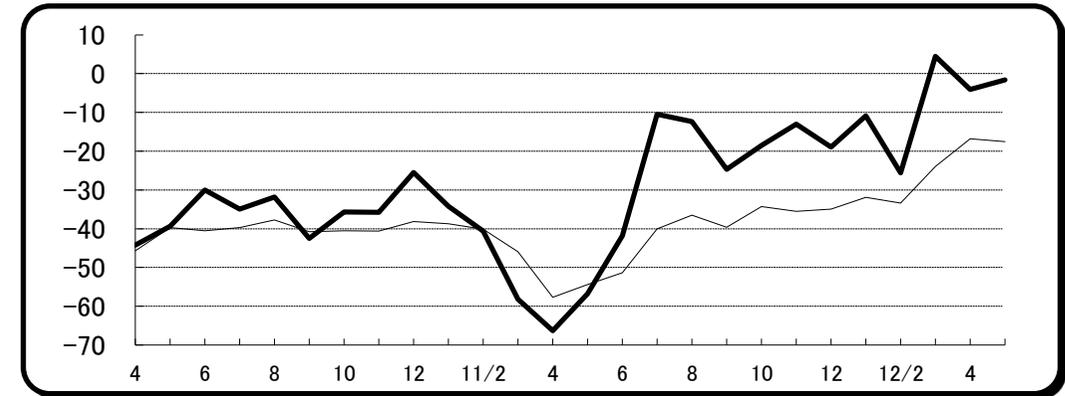
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
建設	10.5	10.5	4.8	16.7	4.2	▲ 8.7	▲ 13.0
製造	▲ 35.7	▲ 8.3	▲ 26.7	▲ 3.6	▲ 10.0	7.4	▲ 14.8
卸売	▲ 22.2	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 44.4	▲ 14.3	▲ 11.1	22.2
小売	▲ 11.1	▲ 12.0	▲ 13.3	13.8	▲ 12.9	0.0	6.7
サービス	▲ 28.6	▲ 26.9	▲ 57.1	10.7	6.5	▲ 3.1	▲ 6.3

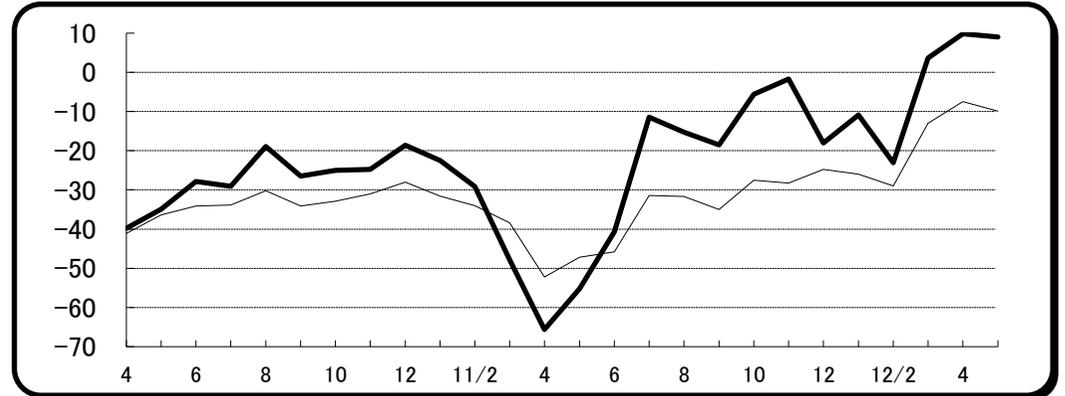
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

——— 東北      —— 全国

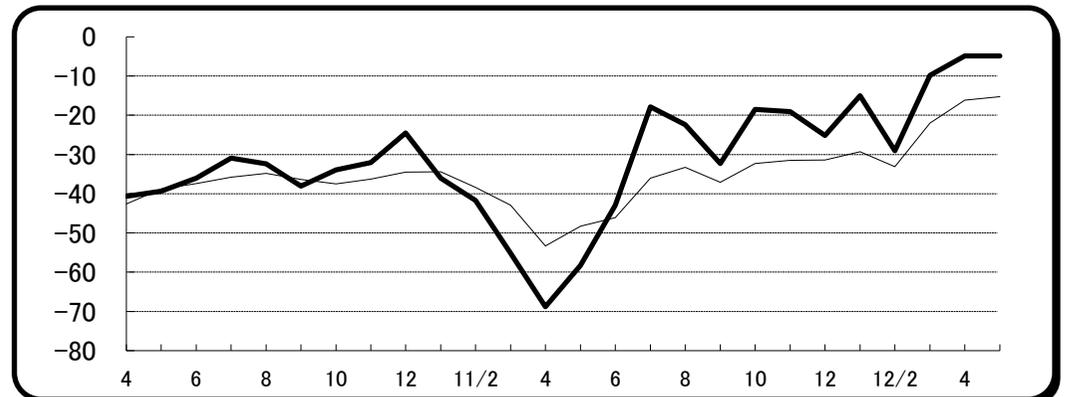
業況



売上



採算



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、卸売業、小売業、サービス業はマイナス幅が縮小、その他の2業種でマイナス幅が拡大した。  
 ○調味料製造業からは、「原材料を高値で仕入れせざるを得ない。コスト増加分を価格に転嫁できず、減収見込み」とのコメント。家具卸売業からは、「円高の影響により、海外、特に欧州への売り上げが減少」とのコメント、飲食店からは、「震災後、観光客数や客単価が落ち込んでいたが、少しずつ回復している」とのコメント。自動車整備業からは、「新車販売は好調なもの、1台あたりの利益が少ない。定期車検に繋げることが収益を上げるうえで必須」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、卸売業は横ばい、サービス業でマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
業況	▲ 30.4	▲ 27.7	▲ 41.0	▲ 22.6	▲ 20.7	▲ 17.5	▲ 13.3
売上	▲ 23.0	▲ 20.0	▲ 38.3	▲ 10.1	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 8.1
採算	▲ 28.4	▲ 22.5	▲ 39.6	▲ 18.2	▲ 23.0	▲ 16.9	▲ 14.2
資金繰り	▲ 19.3	▲ 17.7	▲ 29.1	▲ 15.1	▲ 17.0	▲ 13.9	▲ 16.3
仕入単価	▲ 22.4	▲ 22.5	▲ 24.8	▲ 31.2	▲ 32.6	▲ 23.4	▲ 22.2
従業員	▲ 3.0	1.5	▲ 8.2	0.6	▲ 1.5	0.7	1.5

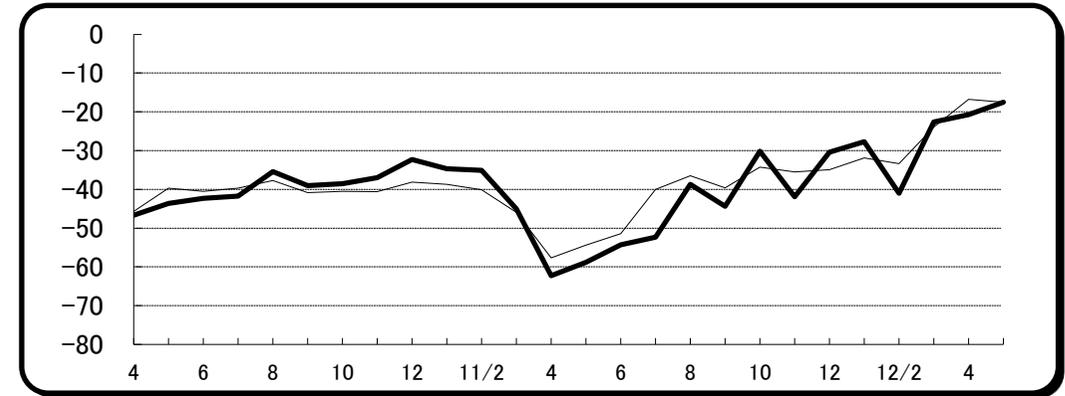
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
建設	▲ 20.0	▲ 34.6	▲ 43.3	▲ 48.5	▲ 35.7	▲ 38.5	▲ 23.1
製造	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 13.8	▲ 6.9
卸売	▲ 41.7	▲ 21.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 14.3
小売	▲ 30.3	▲ 32.3	▲ 50.0	▲ 17.6	▲ 25.9	▲ 20.0	▲ 7.1
サービス	▲ 42.4	▲ 41.4	▲ 45.5	▲ 5.1	▲ 17.9	▲ 5.3	▲ 15.8

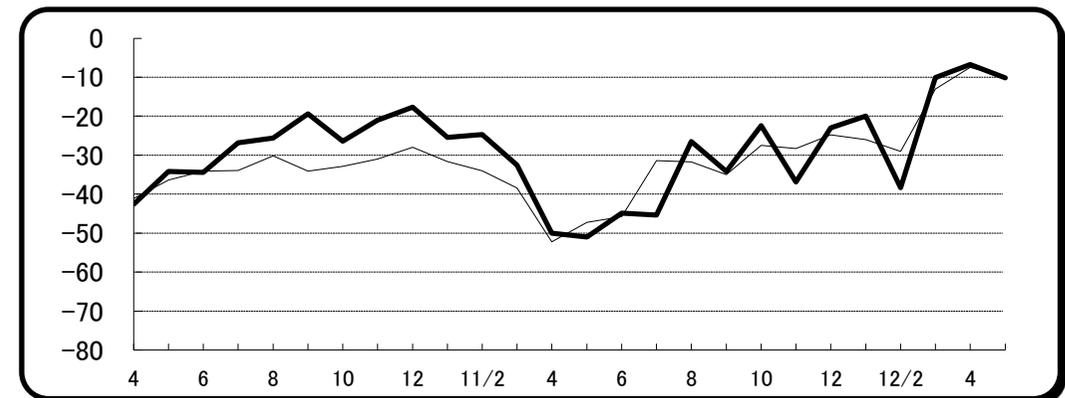
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越    —— 全国

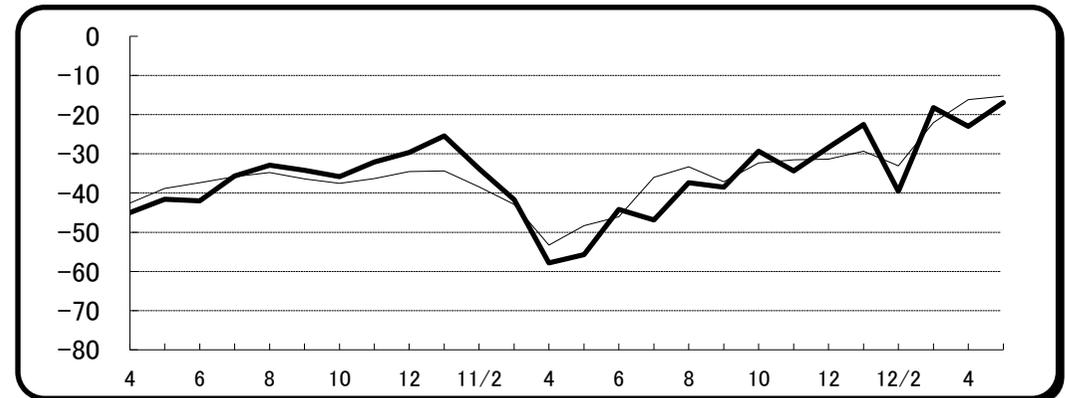
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、小売業はマイナス幅が縮小したものの、その他の4業種で悪化した。  
 ○建築工事業からは、「大手の分譲マンションや新築戸建住宅は好調と聞かすが、中小工務店は厳しい状況が続いており、受注は少ない」との声、金属製品製造業からは、「円高により取引先の海外移転が進み、受注量が減少。海外との競争で受注単価も下落している」とのコメント。かばん製造業からは、「販売をBtoCにシフトしたことで利益率は大幅改善。しかし、電力料金の値上げにより収益の悪化が予想される」とのコメント。百貨店からは、「アクセサリ、化粧品を中心に好調なもの、食料品は低調。ファミリーでの来店が目立つ」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業はほぼ横ばい、その他の4業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
業況	▲ 32.3	▲ 31.0	▲ 32.4	▲ 19.7	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 21.0
売上	▲ 16.7	▲ 23.1	▲ 25.4	▲ 5.4	3.7	▲ 8.0	▲ 15.9
採算	▲ 27.7	▲ 29.8	▲ 32.8	▲ 17.2	▲ 8.0	▲ 14.6	▲ 22.2
資金繰り	▲ 16.1	▲ 18.2	▲ 17.4	▲ 13.9	▲ 5.6	▲ 10.1	▲ 15.6
仕入単価	▲ 23.2	▲ 24.6	▲ 22.7	▲ 30.9	▲ 29.5	▲ 26.2	▲ 20.9
従業員	▲ 2.0	0.9	▲ 0.7	1.2	2.1	▲ 0.4	▲ 1.1

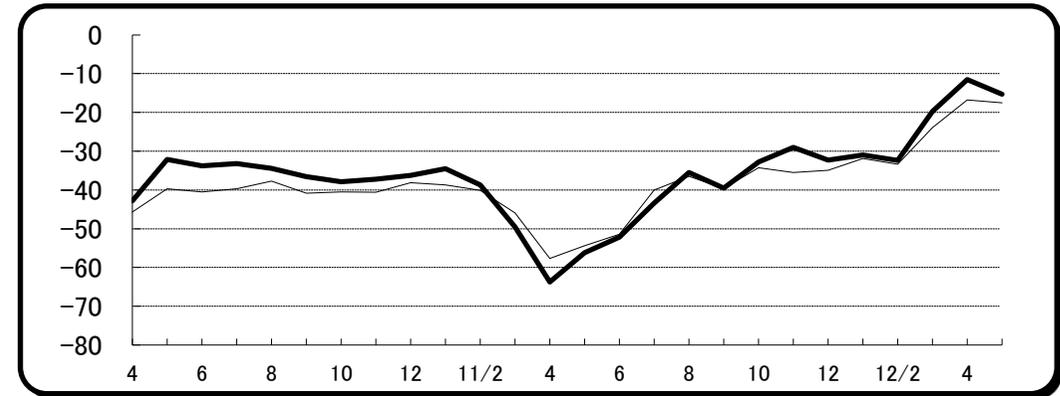
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
建設	▲ 35.0	▲ 18.9	▲ 16.7	▲ 30.0	▲ 19.4	▲ 20.8	▲ 27.8
製造	▲ 12.2	▲ 27.2	▲ 26.6	▲ 7.9	▲ 7.3	▲ 9.3	▲ 17.8
卸売	▲ 32.1	▲ 18.8	▲ 21.6	▲ 25.9	▲ 3.4	▲ 6.2	▲ 18.5
小売	▲ 42.3	▲ 39.8	▲ 48.5	▲ 23.7	▲ 29.0	▲ 25.7	▲ 24.8
サービス	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 37.0	▲ 16.8	0.9	▲ 13.9	▲ 17.8

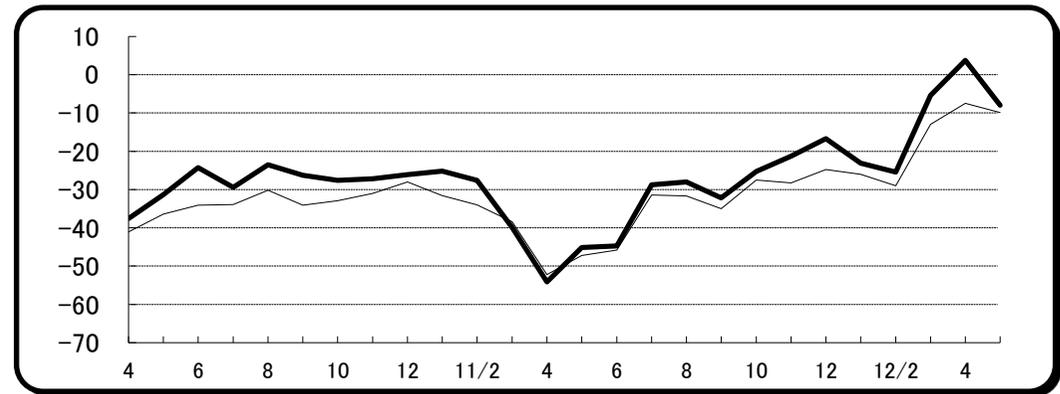
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東      —— 全国

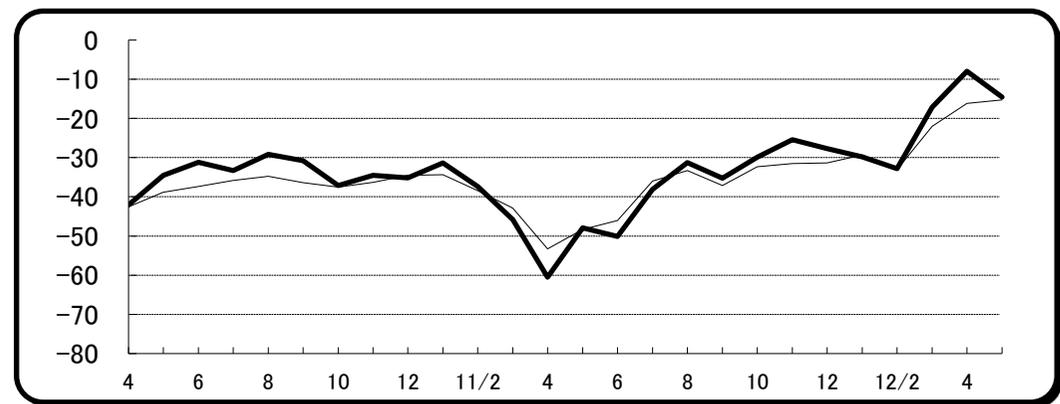
業況



売上



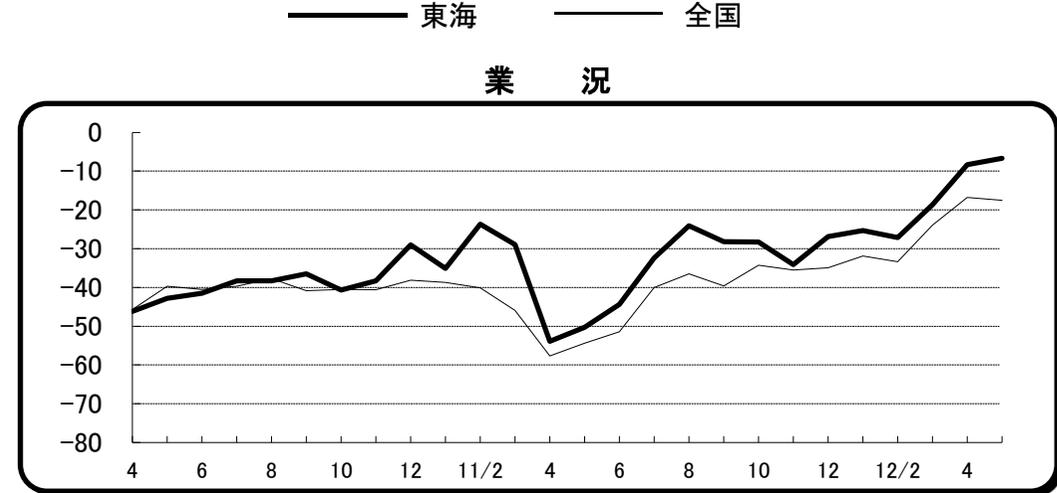
採算



【ブロック別概況・東海】

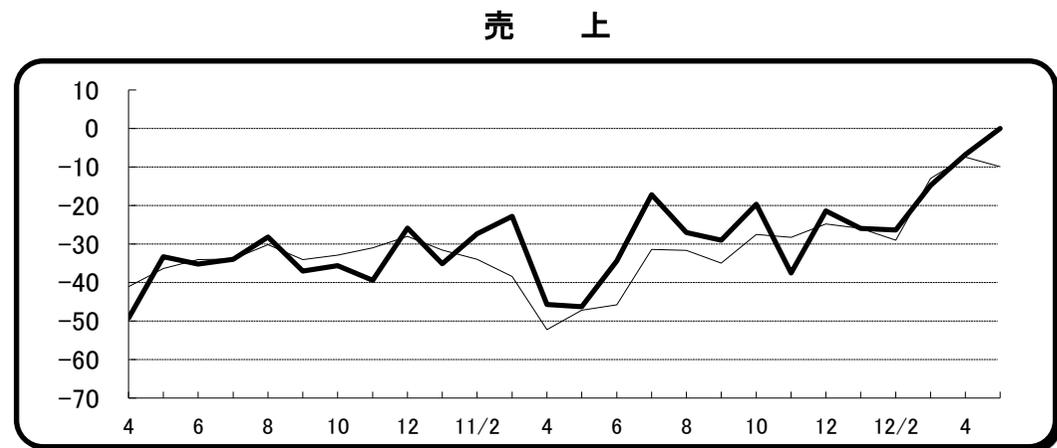
○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、小売業は悪化したものの、その他の3業種は改善した。  
 ○自動車部品製造業からは、「円高により取引先が海外での生産・調達を強化しているため、自社でも海外工場を建設中」とのコメント。プラスチック製品製造業からは、「売上に回復の兆しが見られる。円高メリットを生かすため、原材料の調達時期に気を付けている」とのコメント。総合スーパーからは、「食料品は若干上向いているものの、衣料品は動きが鈍い」との声、運送業からは、「燃料費の負担が依然として大きい。コスト増加分を価格に転嫁できていない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業はマイナス幅が縮小するものの、その他の4業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）



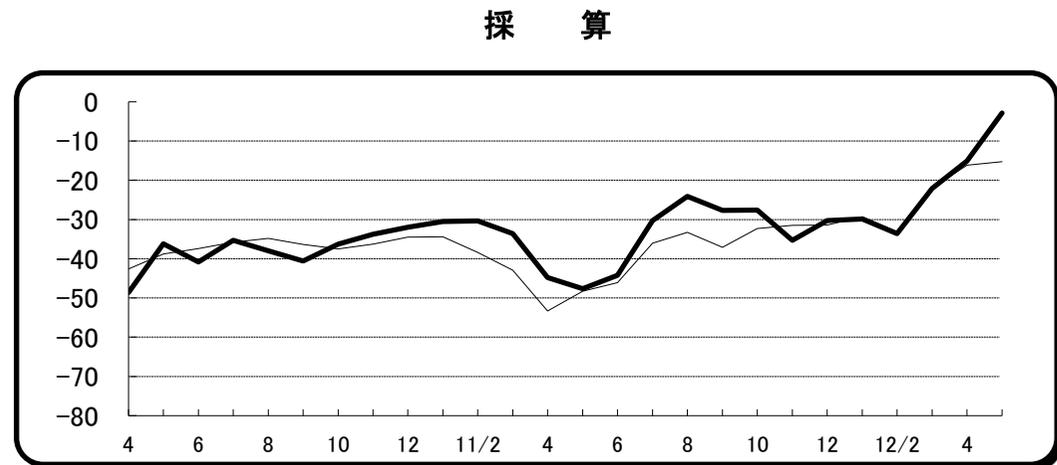
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
業況	▲ 26.9	▲ 25.3	▲ 27.1	▲ 18.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 15.8
売上	▲ 21.4	▲ 26.0	▲ 26.4	▲ 14.8	▲ 6.8	0.0	▲ 8.7
採算	▲ 30.3	▲ 29.9	▲ 33.6	▲ 22.1	▲ 15.1	▲ 2.9	▲ 12.7
資金繰り	▲ 17.9	▲ 16.1	▲ 12.5	▲ 11.9	▲ 6.3	▲ 7.8	▲ 15.6
仕入単価	▲ 18.9	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 26.3	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 23.5
従業員	▲ 2.8	▲ 3.2	0.7	▲ 5.0	5.7	0.5	2.4



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
建設	▲ 11.8	▲ 13.6	▲ 26.3	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 30.8	▲ 11.5
製造	▲ 21.4	▲ 15.9	▲ 19.0	0.0	7.8	14.5	▲ 5.8
卸売	▲ 47.4	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 5.3	▲ 15.8	0.0	▲ 5.9
小売	▲ 38.2	▲ 40.0	▲ 43.3	▲ 53.7	▲ 25.6	▲ 34.1	▲ 43.9
サービス	▲ 18.2	▲ 22.9	▲ 24.2	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 3.6	▲ 12.5



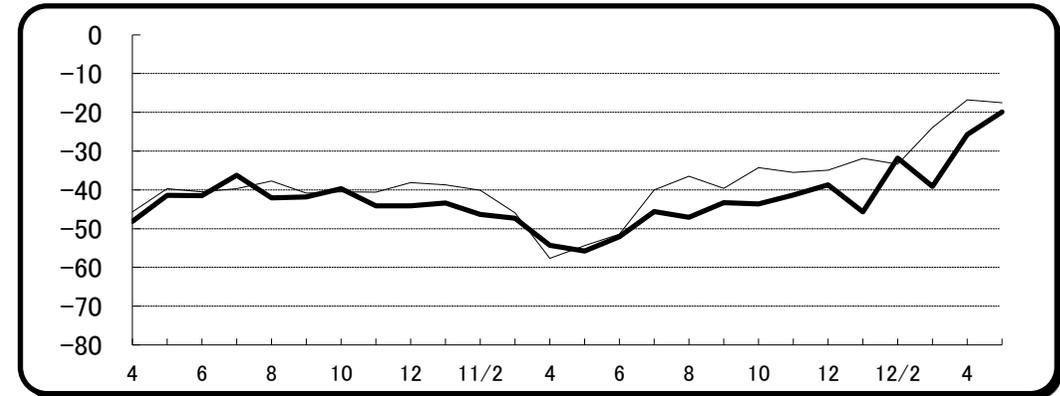
【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、小売業はほぼ横ばい、その他の4業種は改善した。  
 ○一般工事業からは、「流通店舗に関する発注は多いものの、製造業からの引き合いは少ない」との声、金属製品製造業からは、「今まで自社で受注していた製品が、海外企業での生産へシフトされている」とのコメント。刃物卸売業からは、「円高により、取扱商品の輸出が減少している」とコメント。総合スーパーからは、「食料品の売上は伸びているが、衣料品やAV家電は落ち込んでいる。今夏に向けた節電関連商品の売上増を見込む」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小するものの、その他の3業種は悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

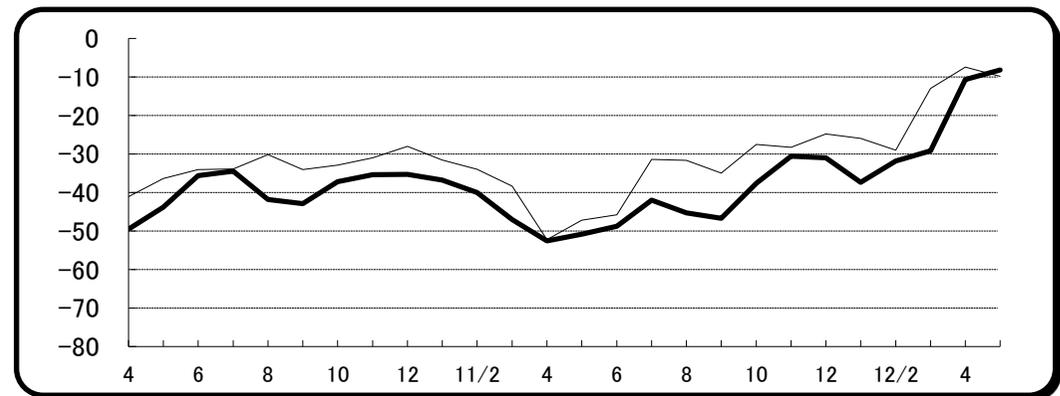
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
業況	▲ 38.7	▲ 45.7	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 25.7	▲ 19.9	▲ 27.0
売上	▲ 31.0	▲ 37.4	▲ 31.8	▲ 29.2	▲ 10.7	▲ 8.2	▲ 17.3
採算	▲ 32.1	▲ 36.8	▲ 31.5	▲ 39.9	▲ 26.0	▲ 18.9	▲ 23.5
資金繰り	▲ 23.2	▲ 24.9	▲ 18.8	▲ 23.7	▲ 13.6	▲ 8.8	▲ 14.5
仕入単価	▲ 22.4	▲ 29.9	▲ 17.5	▲ 30.8	▲ 31.1	▲ 28.4	▲ 24.4
従業員	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 2.2	▲ 8.6	0.0	▲ 3.6	▲ 3.1

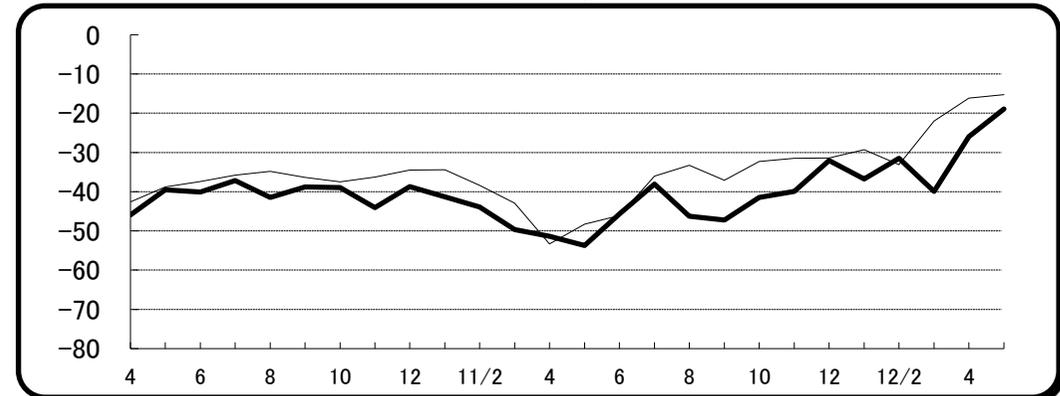
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
建設	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 4.8	▲ 33.3
製造	▲ 18.2	▲ 30.4	▲ 17.0	▲ 31.9	▲ 15.4	▲ 13.2	▲ 20.8
卸売	▲ 18.8	▲ 21.4	▲ 6.3	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 26.3	▲ 10.5
小売	▲ 49.1	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 46.2	▲ 29.5	▲ 29.1	▲ 27.3
サービス	▲ 55.3	▲ 48.9	▲ 50.0	▲ 37.2	▲ 26.3	▲ 20.8	▲ 37.5

採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況D Iは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、製造業、卸売業はマイナス幅が縮小、建設業はほぼ横ばい、その他の2業種でマイナス幅が拡大した。  
 ○一般工事業からは、「新築住宅の需要は大きく落ち込み、その分がリフォームにシフトしている」とのコメント。煉瓦製造業からは、「大口取引先である鉄鋼メーカーの輸出が回復傾向にあり、それに伴って自社の生産も増加しつつある」とのコメント。ソフトウェア業からは、「受注量の減少が見込まれており、経費節減策が急務」との声、旅館業からは、「稼働率は上向いているものの、客単価は下降気味。原材料価格が依然として高いため、収益は悪化」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大、その他の3業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6~8月
業況	▲ 47.1	▲ 41.1	▲ 51.4	▲ 51.5	▲ 30.0	▲ 30.2	▲ 23.2
売上	▲ 38.6	▲ 43.9	▲ 48.6	▲ 39.8	▲ 21.1	▲ 29.2	▲ 23.4
採算	▲ 29.5	▲ 36.4	▲ 43.9	▲ 34.0	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 21.3
資金繰り	▲ 29.9	▲ 25.5	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 14.8	▲ 20.0	▲ 16.0
仕入単価	▲ 20.7	▲ 12.3	▲ 15.2	▲ 18.6	▲ 21.6	▲ 17.9	▲ 10.6
従業員	▲ 18.2	▲ 19.6	▲ 16.8	▲ 15.5	▲ 16.7	▲ 15.6	▲ 10.5

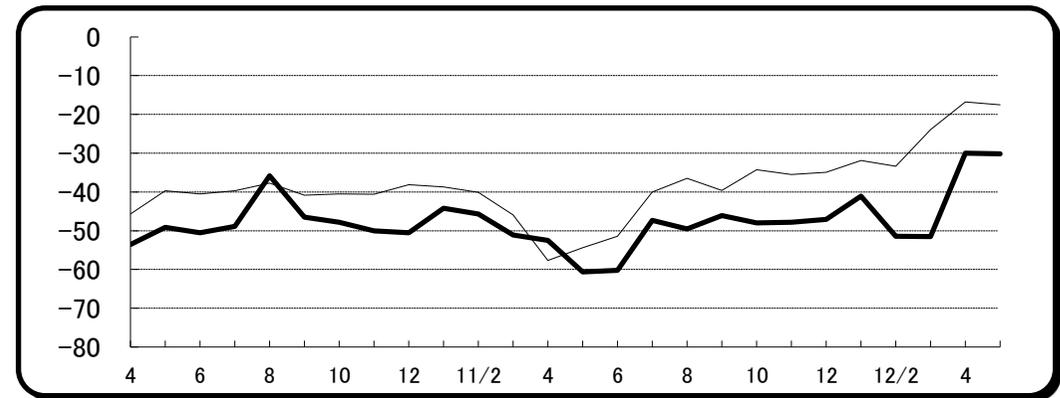
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6~8月
建設	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 53.8	▲ 35.7	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 50.0
製造	▲ 35.5	▲ 32.3	▲ 34.3	▲ 39.3	▲ 29.6	▲ 23.3	▲ 13.8
卸売	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 53.8	▲ 26.7	▲ 18.8	▲ 31.3
小売	▲ 76.2	▲ 41.9	▲ 59.3	▲ 75.0	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 31.8
サービス	▲ 46.2	▲ 58.8	▲ 76.5	▲ 45.0	▲ 29.4	▲ 44.4	▲ 5.6

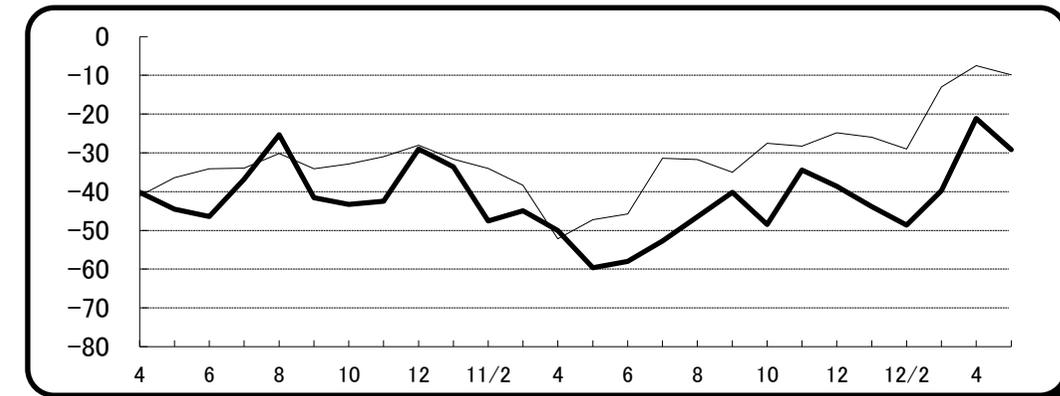
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国      —— 全国

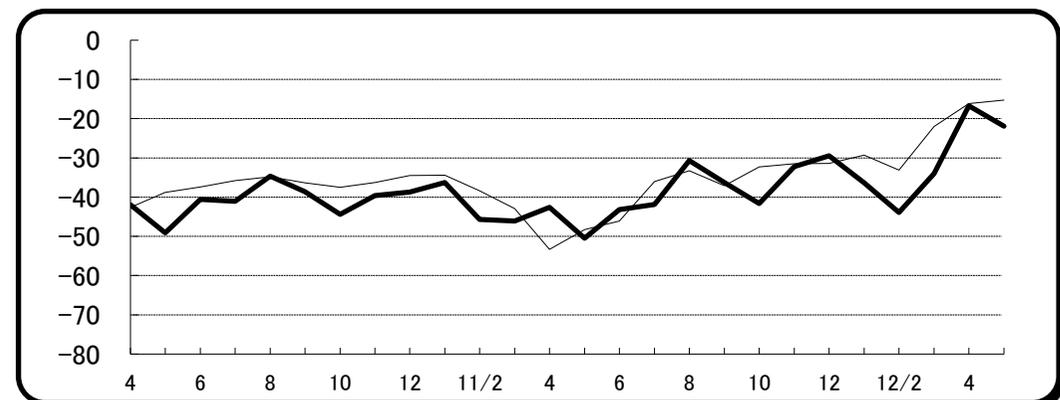
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみても、全業種でマイナス幅が拡大した。  
 ○一般工事業からは、「今年度も公共工事の発注量は厳しい水準で、激しい競争が予想される」とのコメント。一般機械製造業からは、「低価格での対応を余儀なくされるが、短期での受注はある。ただ、中長期の案件はほとんどない」との声、衣料品卸売業からは、「天候不順で気温も低かったため、売れ行きは低調」とのコメント。旅館業からは、「販売価格を下げても、稼働率はなかなか上がらない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、小売業はマイナス幅が拡大するものの、その他の4業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
業況	▲46.3	▲38.0	▲37.6	▲27.4	▲21.6	▲37.4	▲27.8
売上	▲36.1	▲32.4	▲26.5	▲10.4	▲21.6	▲25.2	▲22.6
採算	▲41.7	▲37.0	▲36.8	▲23.6	▲25.5	▲21.7	▲21.1
資金繰り	▲24.1	▲28.7	▲24.8	▲14.3	▲12.9	▲20.0	▲20.0
仕入単価	▲29.6	▲25.9	▲23.1	▲22.6	▲31.4	▲27.8	▲23.5
従業員	▲4.6	▲6.5	▲1.7	▲3.8	1.0	▲3.5	▲3.5

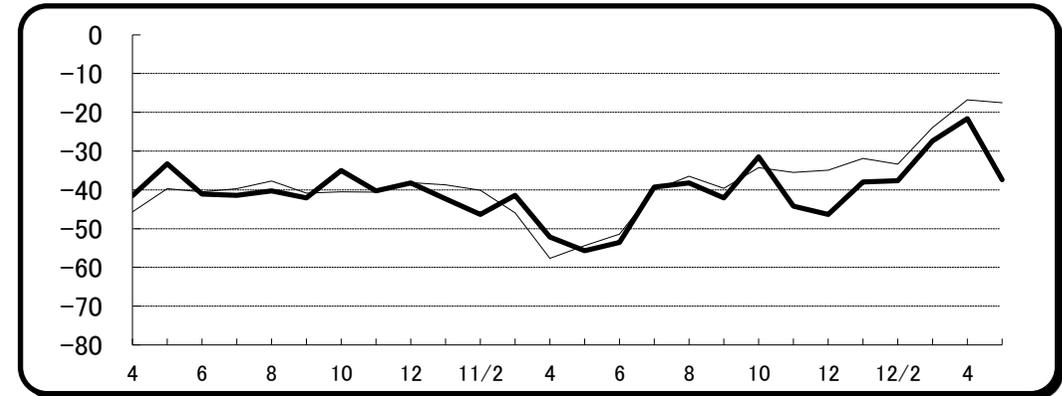
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6～8月
建設	▲58.8	▲61.1	▲47.4	▲50.0	▲44.4	▲52.4	▲28.6
製造	▲37.9	▲30.8	▲32.3	▲16.0	▲15.4	▲34.5	▲20.7
卸売	▲60.0	▲22.2	▲33.3	▲30.0	▲11.1	▲30.0	0.0
小売	▲51.9	▲44.4	▲48.3	▲30.8	▲20.8	▲44.4	▲51.9
サービス	▲36.0	▲28.6	▲27.6	▲18.5	▲16.0	▲25.0	▲21.4

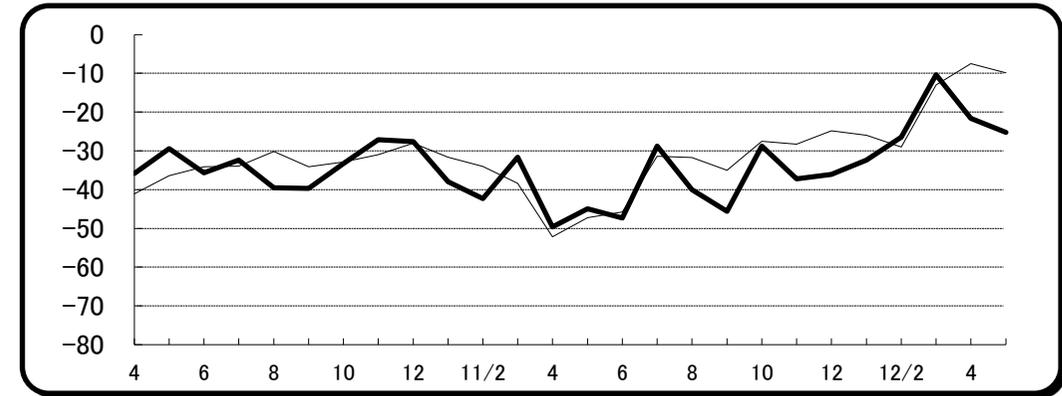
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

——— 四国      —— 全国

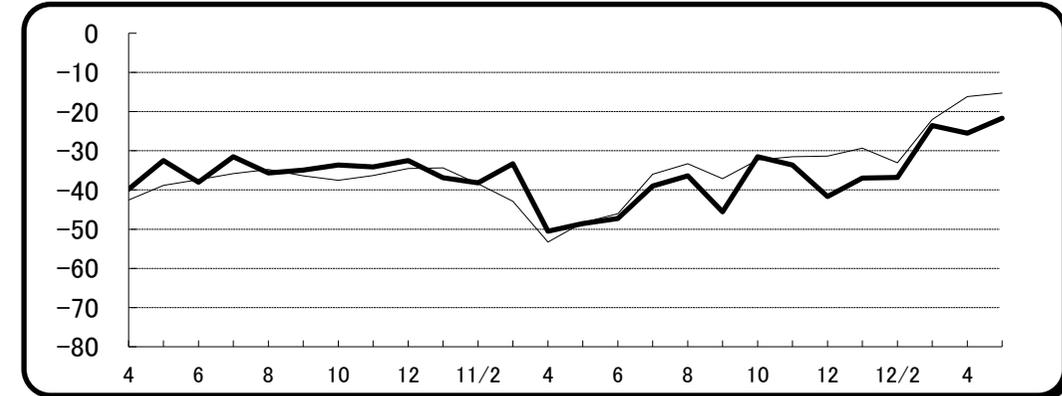
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、小売業、サービス業はマイナス幅が拡大、その他の3業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○建築工事業からは、「復興需要の本格化による、資材の高騰や品不足を懸念」とのコメント。造船業からは、「大手企業が海外調達を増やしているため、仕事の確保が難しい」とのコメント。百貨店からは、「個人消費の改善が見込めず、増床に踏み切れない」との声、旅行業からは、「個人や少人数での案件は徐々に増加しているものの、規模の大きい案件は大幅に減少」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大、製造業はほぼ横ばい、その他の2業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6~8月
業況	▲44.4	▲33.1	▲29.5	▲31.3	▲28.5	▲30.5	▲28.4
売上	▲33.3	▲19.0	▲20.8	▲16.0	▲26.4	▲24.1	▲25.5
採算	▲43.7	▲27.7	▲25.4	▲20.8	▲23.4	▲30.7	▲23.9
資金繰り	▲29.6	▲28.4	▲15.5	▲26.0	▲18.8	▲14.3	▲20.7
仕入単価	▲25.4	▲34.8	▲24.8	▲34.6	▲33.3	▲21.1	▲17.6
従業員	▲7.4	▲2.8	1.6	▲5.4	▲6.9	▲6.4	▲4.9

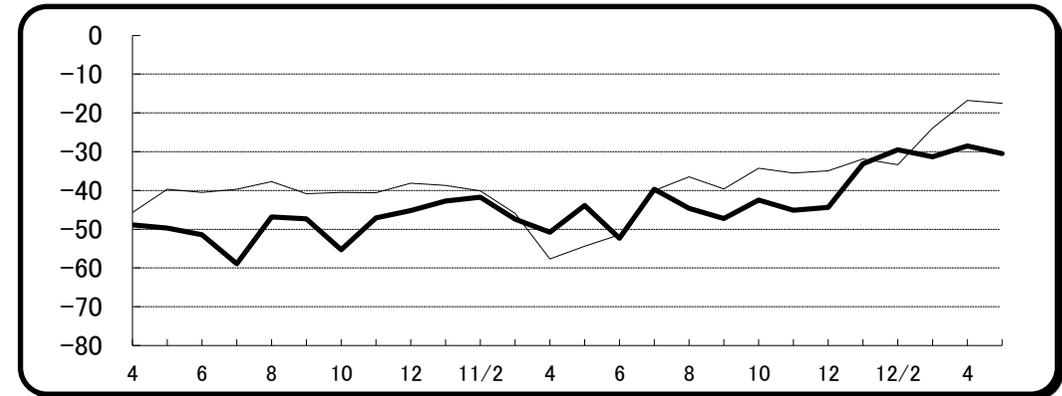
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6~8月
建設	▲65.2	▲43.5	▲70.0	▲58.3	▲45.5	▲38.1	▲47.6
製造	▲46.4	▲43.3	▲46.4	▲25.8	▲26.5	▲13.8	▲13.3
卸売	▲35.3	▲11.8	▲31.3	▲33.3	▲33.3	▲19.0	▲9.5
小売	▲52.8	▲40.0	▲26.5	▲22.9	▲37.1	▲55.6	▲44.4
サービス	▲22.6	▲21.6	9.7	▲24.1	▲8.6	▲20.6	▲24.2

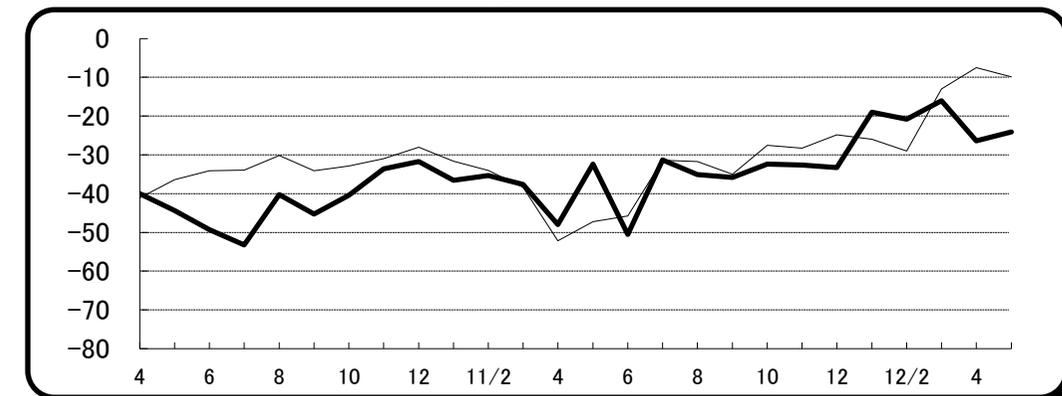
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

